※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（大修館）						
副教材等	自主作成プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、新たな書体を学び、古典の特徴と用筆・運筆との関わり等を学びましょう。
・漢字の書、仮名の書を学習し、漢字仮名交じりの書で感興や意図に応じた個性的な表現ができることをめざします。
・芸術としての書を、自分の創造的な表現として制作し、自分の気持ちや、他の人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、作品を鑑賞することで書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に対する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、諸表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	仮名の書	・古筆（重之集）の鑑賞・臨書を通じて、仮名の書を構成する様々な要素を学ぶ。 ・古筆（曼殊院本古今和歌集）（平仮名・片仮名・変体仮名）の特徴と用筆・運筆・線質・字形との関わりを理解する。 ・表現形式に応じた全体の構成を構想し、感興や意図に応じた工夫をしながら個性的な表現をする。(創作作品)	a:仮名の書を構成する様々な要素や古筆の特徴と用筆・運筆との関わりを理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解を深めている。 a:古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義を考え、書の良さや美しさを味わって深く捉えている。 C:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 C: 主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	振り返り プリント 観察
二学期	漢字の書	・古典（楷書：張猛龍碑、行書：集王聖教序、隷書：礼器碑、篆書：石鼓文）の鑑賞・臨書を通じて、漢字の書を構成する様々な要素を学ぶ。 ・古典の特徴と用筆・運筆、線質、字形との関わりを理解する。 ・表現形式に応じた全体の構成を構想し、感興や意図に応じた工夫をしながら個性的な表現をする。 （コンクール作品制作・刻字作品の制作)	a:漢字の書を構成する様々な要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本および中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者との関わりについて理解を深めている。 a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさ	作品 プリント	作品 プリント	振り返り プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

二学期	漢字の書		や美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	振り返り プリント 観察
	篆刻	・篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図の応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本および中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者との関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。 b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に篆刻や刻字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	振り返り プリント 観察
三学期	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた漢字（楷書、行書、草書、隷書）と仮名（平仮名・片仮名）を調和させ、構成を工夫しながら表現する。（創作作品）	a：漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりを理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b：目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現など、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。	作品 プリント	作品 プリント	振り返り プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

三学期	漢字仮名交じりの書		b：想像された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書の良さや美しさを味わって深く捉えている。 C:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 C:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品 プリント	作品 プリント	振り返り プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度